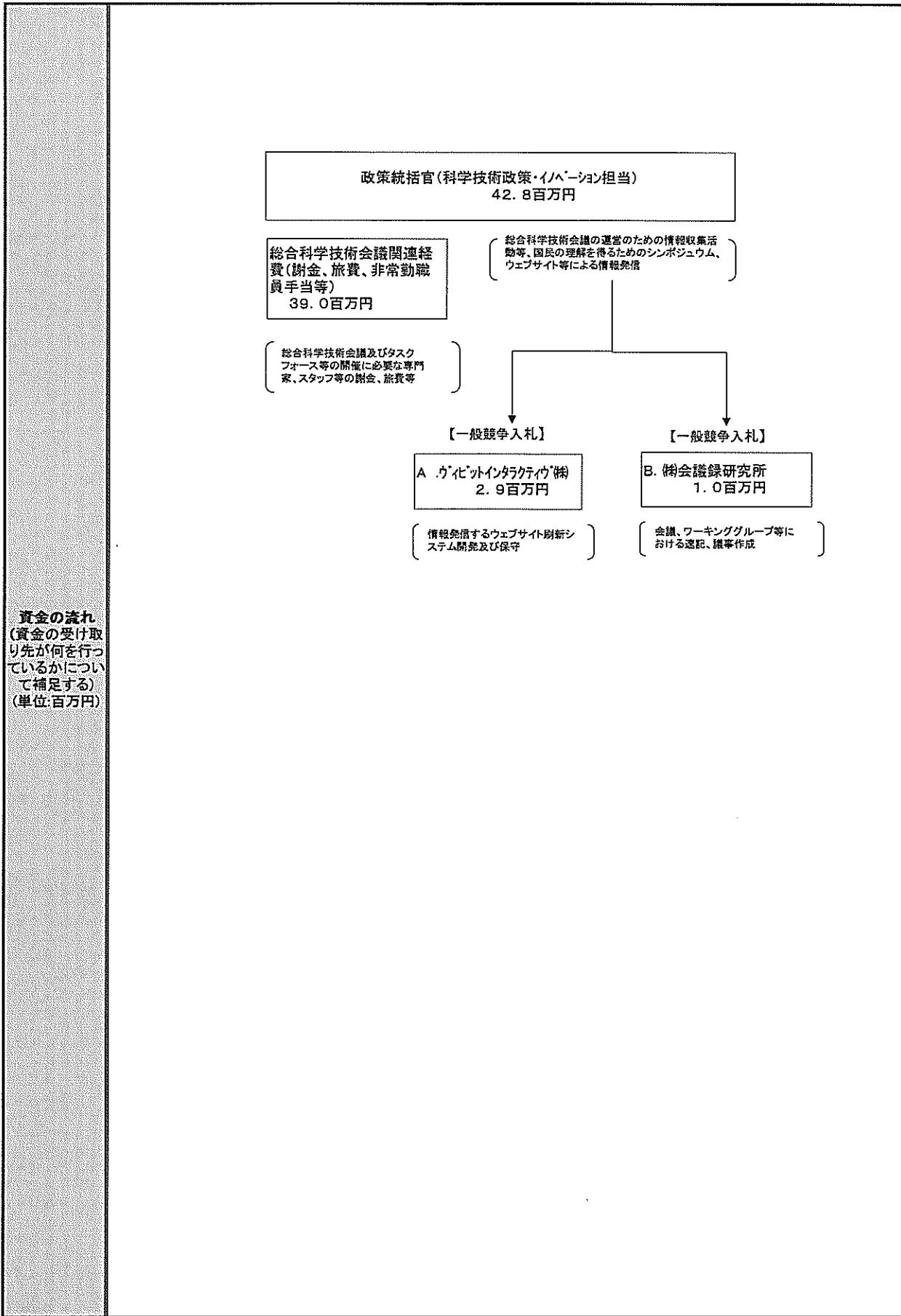


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	総合科学技術政策に係る調査等	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)	担当課室	参事官(総括担当・国際担当) 参事官(重点分野担当) 参事官(最先端研究開発支援プログラム担当)	加藤善一 廣木謙三 二村英介		
会計区分	一般会計	上位政策	科学技術政策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条	関係する計画、 通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月28日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報収集活動等により総合科学技術会議の調査審議の迅速化・的確化を図る。また総合科学技術会議の調査審議の成果についての情報発信力を高め国民の理解の増進を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 最先端で活躍する専門家から最新情報の収集、調査、分析等を行う。 国際会議等に出席することにより海外からの最新情報の収集、調査、分析等を行う。 専門家及び一般傍聴者を招いてのシンポジウム等の開催による情報発信を行う。 ウェブサイトの整備等による情報発信を促進する。 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 最先端研究開発支援プログラムのために必要な会議、ヒアリング等の実施による調査と情報収集を行った。 国際会議(国際ナノテクノロジー会議等)への関係者の出席と情報収集を行った。 「気候変動適応型社会の実現に向けた技術開発の方向性立案のためのタスクフォース会合」の会議開催、ヒアリングの実施による情報収集と取りまとめ及びウェブ等での公表を行った。 大臣、政務官、総合科学技術会議有識者議員と専門家、一般傍聴者を交えた会(科学・技術ミーティングin大阪)を開催した。 国民により分かりやすくするためにウェブサイトの刷新を図った。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	62	63	61	58	58
	執行額	62	53	43		
	執行率	100%	84%	70%		
	総事業費(執行ベース)	62	53	43		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	十分に把握している。 <ul style="list-style-type: none"> 専門家のヒアリング、会議に必要な経費、関係者への会議出席等のための支払いは規定に従い会計担当部門が直接実施しており支出先・使途を十分に把握している。 ウェブサイト刷新等一般競争入札を実施したものは、経費内訳を含め支出先・使途を十分把握している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き会議開催については事前の情報収集等を綿密に行い、限られた予算の中で効率的な議事進行、専門家からの意見聴取等を図るなど、より多くの成果を得られるようにする。 科学・技術ミーティングの一般傍聴者を増やすなど、限られた予算の中でより効果的な情報発信力の強化を図る。 				
予算監視の所感・見直し化	総事業費のうち大半を占める諸謝金・旅費について、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の節減等、更なる効率化に努めるとともに、会議開催実績等を踏まえ、予算額の削減を含めた事業内容の見直しを図るべき。					
補記						



A. ウィビットインラクティウ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
導入料	WEB作成システムの構築	2.4			
保守料	保守経費	0.5			
計		2.9	計		0
B. 総会議録研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
速記反訳	会議等の速記、議事作成	1.0			
計		1.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
〔資金の流れ〕
においてプロックごとに最大の
金額が支出さ
れている者に
ついて記載す
る。使途と費目
の双方で実情
が分かるように
記載)